

薬物活性学分野

Department of Chemo-Pharmacological Sciences
Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Kumamoto University
http://square.umin.ac.jp/kmyakuri/

教授 香月 博志(かつき ひろし)
准教授 関 貴弘(せき たかひろ)
助教 倉内 祐樹(くらうち ゆうき)
博士後期課程2名、博士前期課程5名
学部生9名 (2019年4月現在)

熊本日日新聞
2013年8月2日



熊本日日新聞
2013年8月14日



当研究室では現在、中枢神経系の疾患を対象とした薬理学的研究を展開しています。

1. 中枢神経変性疾患の病理形成機序に関する研究

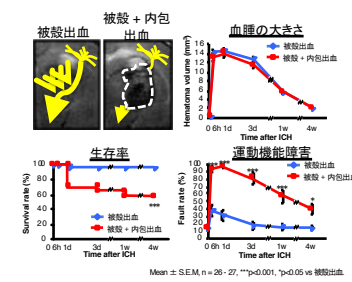
- 脳出血の病理形成機序の解析(香月)
- 視床下部オレキシニューロンの変性機序の解析(香月)
- 脊髄小脳失調症発症機序の解析(関)
- 神経疾患発症機序の解析(倉内)
- 神経変性疾患に関連した細胞内タンパク質分解系の解析(関)
- ミクログリアによる脳病態制御機序の解析(香月)

2. 中枢神経保護薬の作用に関する研究

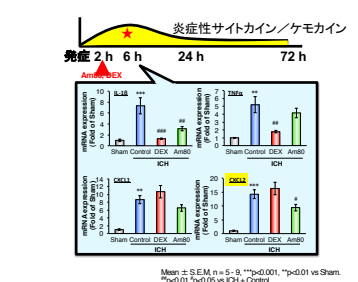
- 脳出血治療薬の探索とその作用機序の解析(香月)
- 中脳ドパミンニューロン保護薬の探索とその作用機序の解析(香月、倉内)
- 核内受容体リガンドの中脳作用の解析(香月、倉内)
- 細胞内タンパク質分解系を標的とした新規神経保護薬の探索(関)

❖ 脳出血病態モデル作成と治療薬候補の探索・作用機序解析

内包への出血拡大が予後不良の原因となる

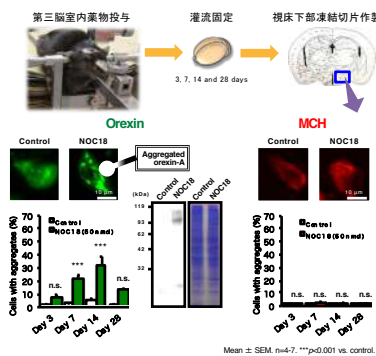
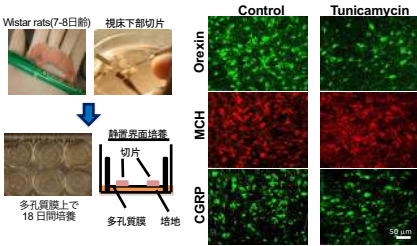


脳出血治療薬候補はケモカイン産生を抑制する

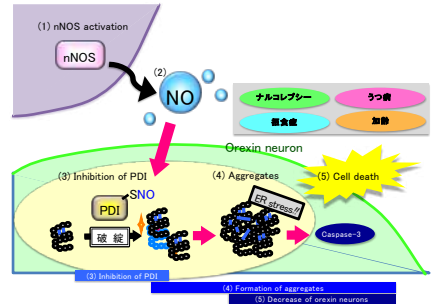


❖ ナルコレプシー等に関連する視床下部オレキシニューロンの変性機序解析

オレキシニューロンは他のニューロンと比較して小胞体ストレスに対する感受性が高い

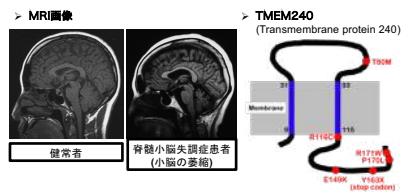


一酸化窒素(NO)がオレキシニューロンの選択的変性を誘導する

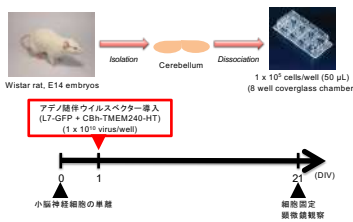


❖ 脊髄小脳失調症21型の発症機序解析

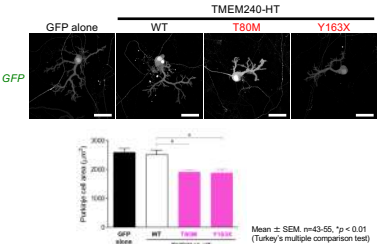
脊髄小脳失調症21型患者においてTMEM240の遺伝子変異が同定された



小脳神経細胞の単離と遺伝子導入

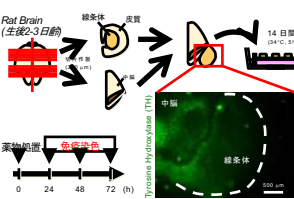


TMEM240変異体導入によりプルキンエ細胞の樹状突起形成が低下する

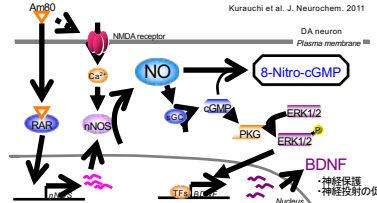


❖ パーキンソン病等に関連する中脳ドパミンニューロンの生存・機能の調節機構の解析

中脳線状体組織切片共培養系



中脳ドパミンニューロンにおけるレチノイドシグナル



❖ 精神疾患モデル作成と治療・予防薬の探索